



## <報告事項>

- 地域女子担当者会議 2021年2月7日(日) (2021年事業計画より抜粋)

参加者:地域女子部長 ( 蝦名 隆幸氏)

### 1. 女子1級認定審査

#### 2021年度予定されている事業

##### 1. 女子1級認定審査

###### ■ 提出書類

①地域委員会委員長からの推薦書

②フィットネステスト結果

・FIFA方式のフィットネステストの記録用紙のコピー

・原則、過去3ヶ月以内に実施した記録とする

【基準】 ・スプリントテスト(40m×6回)6.6秒/回以内

・インターバルテスト(75m:17秒+25m:22秒)×40回

※新型コロナウイルスの影響によりフィットネステストの実施が不可能な場合は、上記基準にて各自で実施した結果(フィットネスチェックと呼ぶ)を参考記録として提出し、第3次審査が終了するまでに各地域でフィットネステストを実施し提出

③候補者からの自薦書

④健康診断書証明書(一般健康診断)

・過去1年以内に受診したもの

#### 2021年度予定されている事業

##### 1. 女子1級認定審査 \*コロナ感染症の状況によっては変更の可能性もあり

■ 1次審査

下記の試合のいずれかより選択

東京都U18リーグ(男子)

もしくは、

受験者が所属する地域内の都道府県U18男子の公式戦

■ 2次審査

全国中学校サッカー大会

■ 3次審査

関東女子リーグ戦、関東大学女子リーグ戦、関西大学女子リーグ等

### 2. 地域2級推薦研修会

#### 2021年度予定されている事業

##### 2. 地域2級推薦研修会

①全日本O-30女子サッカー大会

・3月12~14日 静岡県 時之栖

⇒大会延期に伴い、研修会も延期

大会開催時期については今後検討

②日本クラブユース女子サッカー大会(U-18)グループリーグ

・7月もしくは8月 群馬県 前橋市

③日本クラブユース女子サッカー大会(U-18)決勝ラウンド

・7月もしくは8月 群馬県 前橋市

### 3. 全国大会等への割当

#### 2021年度予定されている事業

##### 3. 全国大会等への割当

①全日本U-15女子サッカー選手権大会 主審

・地域からの推薦

②なでしこリーグ2部での主審

・女子1級受験者

・事前に地域担当者の方と連携を取り、割当はJFAから

### 4. 全日本大学女子連盟との連携

#### 2021年度予定されている事業

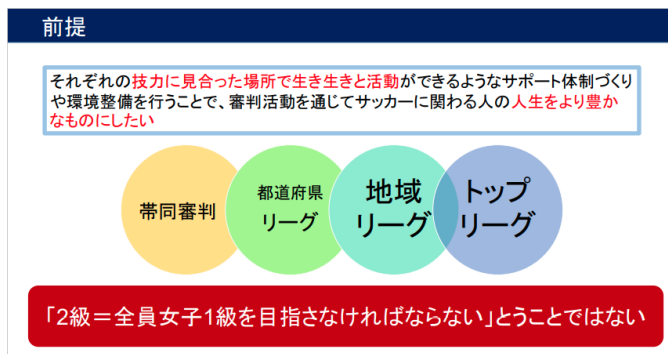
##### 4. 全日本大学女子連盟との連携

大学女子サッカー地域対抗戦2021での学生審判員スキルアップ研修会

⇒大会中止決定に伴い研修会も中止

今後状況の好転により、何らかの機会が設けられる場合には実施したい

## 5. 女子1級認定審査変更の検討



### ➤ 2021年 第1回地域指導者部会長及び地域イントレマネージャー合同会議

2021年3月21日(日) 13:00~16:30

参加者:各地域 指導者部長(村山 尚哉氏)、イントレマネージャー(森 英樹氏)

13:00 黛委員長 挨拶

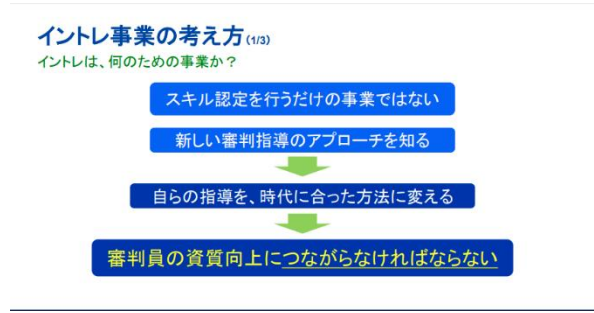
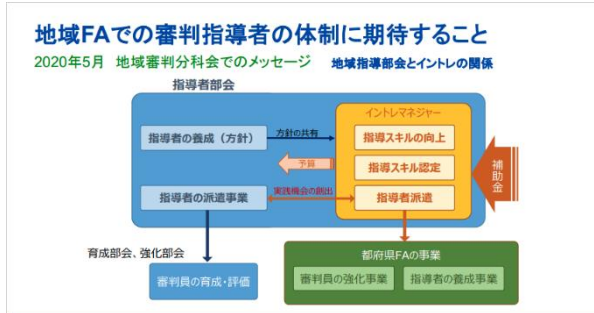
- 地域でのイントレの位置づけについて
- アセスメント評価の手引きⅢについて
- 各地域1級INSの活動について「小さなチャレンジ、大きなチェンジ」
- 2020年度1級INS認定3次審査のフィードバック
- お困りごと要望について
- スモールプラクティカルについて
- ディスカッション(3地域×3グループ)

指導者部会でのイントレ事業事例及び課題と解決策について  
(イントレ受講者の審判指導の機会を明確にする)

- 各グループ発表
- まとめ 連絡事項

16:30 小川副委員長挨拶

# ①地域における審判指導トレセン(イントレ)の位置づけ



## イントレ事業の考え方 (2/3)

スキル認定は何が目的なのか？

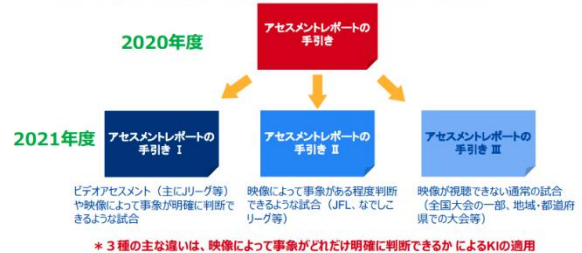
- スキル認定は「認定資格を得る」ことが目的ではない。従って、そのスキルをどこでどのように活かしてもらうかの明確な**ビジョン**が無ければならない。
- スキル認定は「形だけ」の受講によって認定されるものではない。従って、実践でどれだけ効果を発揮できるかを含めた「**実践力**」の認定であることを再認識して欲しい。
- 認定に必要な「標準プログラム」は既に示してあるので、基本的にはその内容が履修でき、実践する力が認められれば認定することとなる。(実践力の審査の機会については後述)
- 認定のレベルは、スキルそのものの習熟度が大きいに関係するが、どのレベルの審判員を指導できるかという、扱う「審判スキル」の難易度」によることも理解して欲しい。
- 事業名称を、変更するか？  
 「養成フェーズ」「派遣フェーズ」  
 →「養成事業」「派遣事業」 (都道府県FAイントレは、都道府県トレセンと混同する)

# ②地域 FA と共有すべきこと

## 1級審判インストラクター認定審査 (2021年度)

- 推薦 : 5月6日 (木) 推薦締め切り
- 1次審査: 5月23日 (日) 19:00~ Web会議システムで実施  
 競技規則理解度テスト、映像による事象分析
- 2次審査: 7月~9月 (実施予定) JFLで実施  
 審判パフォーマンス評価 (フィードバック、レポートを含む)  
**アセスメントレポートの手引きⅢに基づいたアセスメント評価**
- 3次審査: 11月6日 (土)、7日 (日) ・夢フィールドで実施  
 チューターリング、プラクティカルトレーニングの実践  
 (スキル認定B以上は免除)

## 1. アセスメントレポートの手引き 3種 (Ⅰ~Ⅲ) の作成



# ③各地域の 1 級インストラクターの活動

## 1級審判インストラクターの「小さなチャレンジ」

地域FAでの活動に貢献するためにチャレンジすると決めたこと (2/2)

一部の事例:

2021年3月の研修会でのデータ

「小さなチャレンジ」	「小さなチャレンジ」として決めた理由
イントレの講座を受講してスキルを得ること	初心に帰って学び直すため
コーチングのスキルアップ	審判員と指導者のためにより良いサポートを!
コーチとして審判員の役に立つ仕事をする。	コーチング研修会で学んだことを実践したいと思ったから。
地域・県と密接に連絡をとる。	昨年交流が少なかったので積極的に交流する。
4種で活動する審判員の研修会へ参加する	「わかりやすく伝えるスキルアップのため。」
県内で女性のインストラクター向けに研修会をする	県内で行ってこなかったし、県内ならWEBや集合型で実施できそうだから。
ITを活用した講習会、研修会への働きかけ	コロナ禍が終息する見込みがない中、対面での活動がやりづらいのと遠隔地域での活動が停滞気味であることから、IT活用により活動範囲を広げていき活性化を図っていきたい。

## ➢ IFAB 年次総会における審議事項など

(正式な決定・詳細は、今後)

- ・ 競技規則: ハンドの反則の改正
- ・ 脳振盪の交代の最新状況の説明

(試験は 2022 年 4 月まで続けられる予定。競技規則に反映されるのは 2023/24 年)

からと思われる。)⇒HKFAでは今まで通り。Jリーグ関係の試合にて適用。

- 第3条の暫定的な改正の延長は、コロナの関係で引き続き検討する。
- 競技規則が有効となる日を6月1日から7月1日に変更する。

(地域、地区協会において、いつから適用とするかは検討)

- オフサイドの定義について

⇒体の重なり具合の判断が示される。

#### ➤ 審判員向け「指導スキルセミナー」開催

(1級・女子1級向け) 3/18~7/15 計10回 (第1・3木曜日)

##### ■目的

1. 審判員として現役の期間のうちに“審判員の指導”について考え、指導者になるためのスキルを身に付けてもらうトライアルをして頂く。
2. 審判員としての審判パフォーマンスの見方とは違った角度でのアプローチを学ぶことで、自らの審判スキルを向上させる機会にして頂く。
3. 審判員やその指導者としてだけでなく、一般的な業務や日常生活などに生かせるアプローチやスキルを学べる機会として活用いただく。

##### ■内容

1. これからの”指導“とは... (JFA審判委員会が目指す審判員育成に基づいて)
2. 審判コーチングについて (なぜ審判員にコーチングが必要か)
3. チューターリングについて (競技規則の解釈と適用をどのように学んでもらうか)
4. レフェリング分析について (審判員のレフェリングをどのように分析し評価するか)
5. 指導実践 等

#### ➤ 昇級審査関係

- 女子1級 5名がリスト
- フットサル 9名がリスト (北海道 1名受験)

予備審査(オンラインによる競技規則テスト) 4月

1次審査(地域リーグ2試合、競技規則テスト) 6月~7月

2次審査(全国選抜フットサル大会2試合) 9月

3次審査(地域リーグ2試合)11月~12月